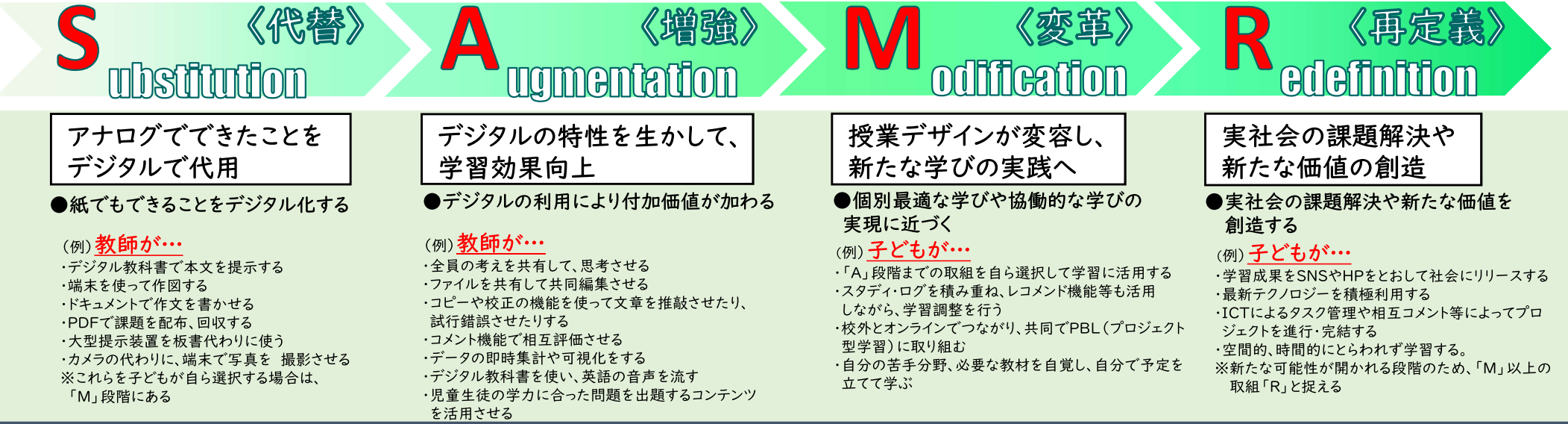


とっとり県版SAMRモデル

SAMR(セイマー)モデル(Ruben R. Puentedura2010)とは、ICTが授業にどのような影響を与えるかを示す尺度となるものです。
鳥取県では児童生徒の資質・能力の育成を図るため、SAMRモデルを以下のように捉え、引き続き、授業におけるICTの効果的な活用をめざします。



ICT活用を進める上で、このようなお悩みはありませんか？
そんな時には…

教職員のスキルアップを図りたいのだけど…

今の使い方は効果的なのかな？

もっと活用方法を知りたいのだけど…

Mの段階に進むためにどうすればいいのかな？

西部教育局所属の教育DX推進員をご活用ください！

- 【教育DX推進員とは…】
- ①学校の実態と目的に応じたICT活用の推進に向けた情報提供を行います。
 - ②各校の取組の良さに着目して、他校への情報提供を行い、鳥取県全体のICT活用の推進を支援します。



教育DX推進員の石原です。活用を希望される際には、西部教育局へ御連絡ください。日時や内容について調整しながら対応します。

- ☆例えば、こんなことができます！
- ①児童生徒がICTを効果的に活用する授業づくりについての情報提供や支援
 - ②情報活用能力を育成する授業づくりについての情報提供や支援
 - ③デジタル教科書の活用についての情報提供や研修会の実施
 - ④プログラミング教育についての教員への支援
 - ⑤Google WorkspaceやiPad、Chromebook、WindowsPCの活用についての助言
 - ⑥ICT支援員等への支援や指導
 - ⑦その他、学校からの要望等への対応(対応の可否は要相談)

※DXとは、デジタルトランスフォーメーションの略。教育DXとは、教育において最新のデジタルテクノロジーを活用することで、教育の手法や手段、教職員の業務などを変革させること。